

平成 20 年（2008 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（４日目）

平成 20 年 12 月 15 日（月）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	宮 國 恵 徳 (そうぞう)	1 定額給付金 について	(1) 定額給付金を含む追加の第 2 次補正予算案の提出を来年の 1 月通常国会に先送りした事について、納得できる 23%を、納得できない 60%が上回っているのが、現実である。国会で野党が反対している定額給付金については、撤回せざるを得ないかもしれない、せっぱ詰った状況に陥っている気がしてならない 麻生総理は今年中に二次補正を出して国民生活の安定を図っていくのが筋道だと話していたにもかかわらず、景気対策を来年に持ち越しすると公言してはばからない このような状況を市長はどのように受け止めているのか市長の見解を問う
		2 国保行政に について	本市は無保険者の児童、生徒や 18 才未満の子供については可能な限り、資格者証の交付は行わず、原則として、短期被保険者証を交付するとの答弁であった (1) 全国の自治体では、滞納世帯の子供についてはどのように対策を講じているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 国は子供が受診の必要が生じ、自己負担は困難であると申し出た場合、有効期間を数ヶ月と限った短期被保険者証を交付するよう、全国の自治体に要請しているが、短期間とは、どの程度か (3) 短期被保険者証の有効期間が過ぎても保険税が本当に払えない時は、どういう措置をとるのか伺う (4) 新型インフルエンザが日本で猛威を振るいそうである。インフルエンザにかかっからは、生命にかかわる問題が起こると思う。生命を守るという観点から、無保険の児童、生徒が短期被保険証を利用して、予防接種を受けることは可能なのか伺う
		3 交通行政について	年の瀬をむかえ、忙しい日々の暮らしに入った。忘年会も多く、新しい年にむけて飲酒の機会も、いつもより増える傾向にあると思う 『飲んだら乗るな』交通ルールを守って、交通事故防止に対する意識高揚を図らなければならないと思う (1) 本県及び本市における交通事故件数及び飲酒運転（酒酔い、酒気帯び）等の取締り状況（去年と今年）について伺う (2) 又、飲酒がらみの事故は何件あったのか、その内飲酒運転による死亡事故は何件あったのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	金 城 徹 (自民・無所属 連合)	1 経済行政について	路上喫煙防止事業について 平成 18 年 12 月議会において、市民の健康的で安全かつ快適な生活環境、さらに観光都市にふさわしい環境の確立を目的に、議員提案により「那覇市路上喫煙防止条例」が制定された その後の当局の取組みについて伺う (1) 路上喫煙禁止地区指定については、広く市民の意見を聴くとともに、商店街振興組合、通り会等の関係団体からの意見聴取及び協力体制の構築が必要と考えるが、当局の見解を求める (2) 特別委員会での関係者からの意見聴取の中でも、喫煙場所の設置を求める声が多数あったが、その取組みと関係機関との調整はどうなっているのか
		2 市民・文化行政について	市民会館建替えについて 建替えの課題と部内の調整はどうなっているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 城 朝 助 (日本共産党)	総務行政について	(1) 「口利き防止条例」の取り組みの進捗状況について ① 「口利き防止条例」等の全国的な自治体の導入状況、及びその内容の特徴について答弁を求める ② 本市の制定・導入はなぜ進まないか。前回質問以降の会議の回数とその内容、議会への提案の時期など具体的に答弁を求める (2) 那覇市行政財産使用料条例及び那覇市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制定についてと関連して ① 銘苅庁舎及び消防本部庁舎の土地の無償貸付の法律と市条例はなにか答弁を求める ② 条例改正後の、1条・減免、2条・無償貸付又は減額貸付の対象となる事業とは何を想定しているのか、答弁を求める (3) 西消防署施設の整備とリース契約の手法の疑義について以下、答弁を求める ① リース方式で庁舎等を建設した各地の調査をした。回答のあった所はすべて鉄骨構造である。国税庁通達からして、那覇市はリース契約してはならない物件をリースしたのではないか ② 9月議会で消防長は先進地調査をしたのかとの私の質問に対し、西消防署を準備する段階ではやってないとの答弁だったが、銘苅庁舎や消防本部庁舎の準備段階で、いずれかの部署が調査をしていると思うが、鉄筋コンクリート構造があったのか、答弁を求める

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			③ 9月議会の私に対する消防長の答弁は、平成17年3月31日付けで重量鉄骨構造ということで契約を締結したが、北京オリンピック需要等で鋼材価格が高騰していることもあり、同価格で鉄筋コンクリートに変更合意したと答えているが、合意したのはいつか。業者救済の為に契約を変更したのか。プロポーザル方式は地方自治法上は随意契約ではないか。随意契約なら構造変更は重大な契約変更であり、再入札が必要ではないか。答弁を求める ④ このような事業への支出は地方財政法の出金手続きに違反していないか、十分精査したのか、答弁を求める 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	与 儀 清 春 (自由民主党・ 市民の会)	「農連市場地区再開発」と「開南本通り街路整備」について	農連市場地区再開発に期待をするものである。進捗状況について伺う 県道 222 号線「真地久茂地線」開南本通りも調査業務がスタートし、街路整備が待たれている。しかし、通りの一方の側が段差のため擁壁だらけの街並にならないか、景観上懸念するものである。 また、関連して牧志壺屋線についても進捗状況はどうなのか、伺う (1) 「農連市場地区再開発」について ① 進捗状況について ② 都市計画決定について ③ 県内企業の参画について (2) 「開南本通り」街路整備について ① 事業の進捗について ② 完成年度について ③ 道路構造など、景観について (3) 牧志壺屋線について ① 事業の進捗について ② 完成年度について ③ 壺屋やちむん通りとの通行方向について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	座 覇 政 為 (そうぞう)	1 那覇市歴史博物館について 2 水産行政について 3 福祉行政について	パレット久茂地 4 階に歴史博物館を開設して 2 年目を迎えたが、これまでどういう事業を展開してきたか。また、博物館は新都心の開館した県立博物館に大きく遅れをとっている。運営体制やスタッフ、入場数と収入、今後の課題とその解決策について（開館から直近までの比較、入場者数とその変化を年度別、月別で）説明を求める マグロ漁規制と沖縄県及び那覇市水産業（マグロ）の影響について説明を求める。（漁業及び流通に伴う問題を含めて） (1) 大西洋まぐろ類保存国際委員会はクロマグロの漁獲枠をどのように削減したか。日本漁船、そして沖縄県への割当枠はどう変化したか (2) 南太平洋でとれるミナミマグロの漁獲枠は、現在どうなっているか（日本漁船枠と沖縄県への枠） (3) 太平洋のメバチマグロはどうなっているか (4) マグロの安定供給に向けて県や市はどういう施策をとっていくのか (1) 有料老人ホームの新設は国の規制もあり、厳しく抑制されているが、自宅介護が難しくなり、居住系施設を探している要介護高齢者やその家族の苦労は大変なものがある。市町村が「総量規制」を続ける理由は何か。また那覇市はどういう状況か伺う (2) 特別養護老人ホームは那覇市にいくらあり、入所者数はいくらか。また、入所を希望しながら、入れない待機者数はいくらか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 2006 年4月より特別養護老人ホームや老人保健施設、療養病床に適用されていた枠を、特定施設まで拡大したが、それぞれ前住所地の自治体が費用を賄っている割合はどうか(那覇市と他市の割合、市外入所の割合) (4) 那覇市は今後どういう施策をとるか 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	喜舎場 盛 三 (公 明 党)	1 中小企業支 援について	10 月 31 日から緊急保証制度（原材料価格高騰 対応等緊急保証制度）がスタートした。企業の皆 さんから大変喜ばれている。本市においても 100 近い認定がなされているようだが沖縄では特に 個人事業所等において、事業内容を表す帳簿など を整えていない事業所が多く、当保証制度を利用 できない例があると聞いている もちろんその責任は経営者本人にあるのだが、 この不況の中、頑張っている企業を少しでも多く 支援していただきたい 本市の小口資金融資制度の要件を緩和するな どして融資をし易くすることはできないか また、日常から経営のためのアドバイスや相談 を受ける経営相談窓口を常設できないか伺う
		2 教育行政に ついて	(1) 新学習指導要領が 23 年度から小学校、24 年度から中学校で実施されるが、21 年度か らの移行措置も含めてどのように対応して いくのか伺う (2) 全国学力テスト、学習状況調査では、子ど もたちの学力テスト正答率と学習状況、生活 習慣との相関関係が公表されているが、例え ば朝食の摂取状況と正答率の関係等、いくつ かの例をあげて相関関係を説明いただきた い (3) 生徒サポーター派遣事業の内容と実施状 況を伺う (4) 市内の数校で実施されている生徒サポ ートチーム会議の内容と実施状況を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 防災道路について	数年前から住民の要望がある繁多川2丁目の防災道路は県営団地の中を通るため、県当局から県営団地の人々の了解が必要とされていたが、このほど2丁目の人々と県営団地の人々の協力で、県営団地住民の了解を得られた。 本市としてこれから積極的に当道路建設に向けて取り組んでいくべきであると思うが、どう推進していくのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 福祉行政について	(1) 障害者自立支援法によって、応益負担が障がい者の自立を阻害している。制度の廃止を国に求めるべきである。見解を問う (2) 自立支援法で施設や作業所の報酬が月額制から日額制になり、減収が経営を圧迫している。現状と対策を問う (3) 県が医療費助成の自己負担を千円に引き上げるというが、少なくとも障害者には市独自に助成を継続すべきではないか。対応を問う (4) 介護施設の人材不足が問題になっている。要因と対策を問う
		2 松くい虫対策について	(1) 沖縄県の松くい虫防除対策の現状と米軍基地や北部演習場の松はどのようになっているか。本市の樹齢 20 年以上の松の木は何本あるか。被害の状況を問う (2) 枯れた松を速やかに処理し、防除を高めるためにも、民有地の被害松にも処理費用の助成をすべきではないか。見解を問う。またその費用はいくらか
		3 教育行政について	児童生徒の「放課後活動定休日」と「家庭の日」について (1) 本市のスポーツ少年団と小中学校の体育系・文科系の部活動・サークルの数、在籍人数を問う (2) 家族が子どもと一緒に過ごす時間を増やすことを目的に、放課後の部活動などの定休日（家庭の日）の実施状況はどうなっているか。先進自治体の取り組みと成果を問う
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	翁 長 俊 英 (公 明 党)	1 那覇空港・滑走路増設について	那覇空港の滑走路増設について2案に絞られてきた。市長の見解を伺う
		2 発生材の再利用について	(1) 市営住宅の建替えに伴う発生材の利活用について問う (2) 学校や公園の洋式トイレの設置状況と今後の計画について問う (3) 市営住宅の建替えに伴って、廃棄処分となった洋式の便器を学校トイレに再利用した場合、どれくらいの経費・削減になるのか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 こども行政 について	(1) 学童クラブについて ① 児童が 71 名以上の大規模学童クラブは 2010 年度から、法的に補助の対象外になる。那覇市の責任で早急に、大規模学童クラブを解消すべきである。当局の見解と対応を問う ② 障がい者の受け入れについて、国は予算の措置をしている。なぜ那覇市は予算を確保しないのか。当局の見解と対応を問う ③ 公的施設、学校改築時の学童施設の確保について、古蔵小学校のようなあり方等も検討して、計画的に行うべきである。当局の見解と対応を問う (2) 乳幼児健診について 乳幼児健診の精査受診票の制度をなぜ改定したのか。以前の制度に戻すべきである。当局の見解を問う
		2 教育行政に について	(1) 義務教育の自己負担について ① 日本国憲法第 26 条第 2 項「義務教育は、これを無償とする」と定めている。義務教育の自己負担を廃止・軽減すべきである。教育委員会の見解を問う ② 小・中学校管理運営費と教材等整備費の総額と児童・生徒一人当たりの金額の推移について、当局の見解を問う ③ 純粋な P T A 会費以外の教材費や自己負担の児童・生徒の月額・年間の負担額は幾らか。父母の負担は年々重くなるばかりであり、その軽減は急務である。当局の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 学校給食食材における県産品の使用について ① 学校給食における、県産品の使用割合と金額の過去5年間の推移について、またその使用割合が100%になった場合の経済的な波及効果について、当局の見解を問う ② 担当課の設置と担当職員を任命する等して、今後5年以内の使用割合の目標の設定と年間計画を作成すべきである。見解を問う (3) 発達障がい児童・生徒への学習支援について 全ての小学校と中学校で学習支援が実施出来るように、この制度を充実させるためにも、人員や予算の増が必要である。当局の見解を問う 【答弁を求める者】 副市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 20 年 12 月 15 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	大 城 春 吉 (無 所 属)	1 買物券の発行事業について 2 農具類の展示について	景気低迷で市内の中小商店等は売上高が激減し悲鳴を上げている。景気対策の一環として、顧客の増加や消費の拡大を図るために、例えば1万円で1万1千円分の買物ができる買物券を発行して中小商店を活性化させる刺激策を講ずる必要があると思慮する。そこで次の点について伺う (1) 緊急景気対策の一環として市内共通買物券を発行するために、2009 年度予算に1億円以上計上する考えはないか (2) 市内にある中小商店等関係団体と買物券発行について意見交換する考えはないか (3) 買物券発行について、市民にアンケート調査するのも手法のひとつではないかと思うがどうか 旧真和志村は、昔から農業が盛んで生産地として名の知れた所であったが年々歳々、市街地化が進み最近では後継者もいなくなり、専業農家は一段と少なくなっているのが現状である そこで一昔前に農家の人が使用していた農具類や生活用具類等を一堂に集めて展示公開して、当時の生活や暮らしぶりを未来永劫に農業の歴史を市民、県民に知ってもらうためにも大変貴重な遺産だと思う。そういう視点から次の点について伺う (1) 沖縄県内において農具類や生活用具類を展示し、公開している施設はどのぐらいあるのか (2) 市民やJ A沖縄に協力を要請して本市の施設に展示する考えはないか 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長